

浜名湖におけるハマグリの生態研究

(予算区分 受託 研究期間 2025~2028年度)
担当：水産・海洋技術研究所浜名湖分場 上原陽平

【研究の背景とねらい】

- ・浜名湖の採貝漁業はこれまでアサリが対象でしたが、2022年からハマグリも対象となりました。
- ・浜名湖におけるハマグリの生態は不明な点が多いため、資源を持続的に利用するためには、科学的根拠に基づいた資源管理策が必要不可欠です。
- ・そこで本研究では、浜名湖におけるハマグリの分布や成長、さらに母貝場の環境条件などを明らかにします。

【期待される効果】

- ・科学的根拠に基づいた資源管理策を漁業者へ提示、漁業者自らが設定することで資源の持続的利用の促進が期待されます。

【年次計画】

細目課題	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	研究内容
環境モニタリングを通じたハマグリの生息適地選定技術の開発	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none">・感潮域～河口干潟までのハマグリの生息環境及び生息密度、成長などのモニタリング・他二枚貝との生息環境を比較することによる生息適地の評価
ハマグリの餌料生物および餌環境に基づく生息適地選定技術の開発	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none">・感潮域～河口干潟までのハマグリの餌料生物の把握・稚貝と母貝場における餌料生物の生物種組成を把握することによる生息適地の評価

(作成 2025年4月)